

平成 27 年度

北海道大学大学院文学研究科
博士後期課程

学 生 募 集 要 項

平成 26 年 5 月

平成 27 年度北海道大学大学院文学研究科

博士後期課程学生募集要項

目 次

教育研究上の目的及びアドミッションポリシー	1
《一般入試》	3
《社会人特別入試》	7
各入試共通	11
・願書記入上の注意	
・出願書類の請求	
・入学手続	
・長期履修制度について	
・個人情報の取り扱いについて	
・入学試験に関する問い合わせ先	
・各種情報開示について	
別記1《参考》	13
・修士課程授業科目表	
・各専修における専門分野	
別記2	16
・出願資格審査	

教育研究上の目的及びアドミッションポリシー

1. 本研究科の教育研究上の目的

本研究科は、人文科学の諸領域において高度の専門的な教育研究を行うことにより、「ことば」に対する感受性及び論理的な思考力、総合的な判断力等を有する人材の育成を図るとともに、国際的に卓越した創造的な研究者を養成し、及びその資質の向上を図ることを目的とする。

(1) 思想文化学専攻

思想文化学専攻は、哲学倫理学、宗教学インド哲学、芸術学の3専修からなる。哲学倫理学専修には西洋哲学、倫理学、論理学、応用倫理の分野が、宗教学インド哲学専修にはキリスト教学、インド哲学、仏教学、宗教社会学が、また芸術学専修には芸術学、美学、美術史が含まれる。

経済と政治のグローバル化が進展するなかで、価値観の対立と衝突も生まれている現代社会にこそ、人間のあり方について根源的な問を發し続けてきたこれらの分野に関する深い学識を持つ人材が必要とされる。

本専攻の目的は、このような視点から、上記の領域における多様な教育研究を通して専門的学識と幅広い教養を合わせ持つ学生を育成し、中等・高等教育機関、博物館・資料館、国際交流機関やIT、マスメディア等、官公庁や企業のさまざまな分野で活躍できる人材を社会に送り出すとともに、創造性豊かな研究者の育成を目指している。また海外の研究者を招いて講演会、研究会等を積極的に行い、学生に海外の研究者と接する機会を提供するとともに、学生の海外派遣を含む研究教育の国際化に取り組み、国際的な視点をも身につけた人材の養成を目指している。

(2) 歴史地域文化学専攻

歴史地域文化学専攻は、日本史学、東洋史学、西洋史学、歴史文化論、北方文化論、スラブ社会文化論の6専修からなる。

本専攻では、主に歴史学と広義の地域研究を対象とした教育と研究を行っている。「歴史」も過去における異文化にほかならず、異文化に分け入るためには、言語や時空の壁を越えて、他者と共感する真摯な姿勢と、本質を見抜き相対化する批判精神が必要である。文献資料や先行研究から得られる知識だけでなく、ときにはみずからフィールドへ出向いて異文化を体感する行動力も求められる。そのような自己と他者との対話をとおして、文化の多様性と共通性を学び、過去と現在、中心と周縁を有機的に結び付けて世界の総体を捉え直すことのできる、バランスのとれた人材の育成を目指している。

本専攻の目的は、①古文・漢籍を含む文献読解の方法、②ヨーロッパ、アジアおよび北方地域を含む多様な言語の修得、③現地調査を含むデータ収集とその処理・分析方法、④物質・精神にまたがる異文化へのアプローチ、⑤地域や民族がかかえる現代的課題への視野、等について学際的かつ総合的な教育研究を行い、それにより、諸分野の研究者の養成はもとより、中等・高等教育機関、博物館・資料館、国際交流機関やマスメディア等、官公庁や企業のさまざまな分野で活躍できる人材を育成することである。

(3) 言語文学専攻

言語文学専攻は、西洋文学、言語科学、日本語科学、日本文化論、中国文化論、映像・表現文化論の6専修からなり、主として言語、文学、思想、文化などを対象とする教育研究を行っている。

具体的には、①言語学、言語科学、言語情報学など、言語理論や言語の情報処理に関する教育研究、②日本語科学、英語学、ドイツ語学・ゲルマン語学、フランス語学・ロマンス語学、ロシア語学、中国語学など、個別の言語に関する教育研究、③国語国文学、英米文学、ドイツ文学、フランス文学、ロシア文学、西洋古典学、中国文学、中国思想など、多様な言語で記された文学・思想に関する教育研究、④映像・図像学、批評理論、文化批評など、視覚メディア文化や言語表現文化に関する教育研究を中心とするが、それらの諸分野を複合的総合的に横断する領域の教育研究も視野に入れている。

本専攻の目的は、以上の領域に対する多様な教育研究を通して、それぞれの分野における優秀な研究者の養成はもちろんのこと、中等・高等教育機関、博物館・資料館、国際交流機関やIT、マスメディア等、官公庁や企業のさまざまな分野で活躍できる人材を育成することである。

(4) 人間システム科学専攻

人間システム科学専攻は心理システム科学専修（認知心理学、認知科学、実験心理学）、行動システム科学

専修（社会心理学，文化心理学，環境心理学），社会システム科学専修（福祉社会学，教育社会学，国際社会学），地域システム科学専修（地域社会学，地理学，保全生態学）からなり，実験，コンピュータ・シミュレーション，社会調査，聞き取り調査，フィールドワークなど多様な方法論を用い，人間と社会の理解に向けた科学的・実証的なアプローチを行っている。

本専攻の目的は，まず，学生がそれぞれのディシプリンを修得した上で，専攻に共通の授業を通して微視的および巨視的な観点を獲得すること，また国際学術誌への投稿，国際学会での発表，国内外の研究交流等を通して，大学や様々な研究機関において国際的水準に立って研究できる研究者を育成することである。さらに本専攻は，官公庁，企業等に就職し，教育，医療，IT，マスメディア等の幅広い領域で活躍できる高度専門家の養成を目指している。

2. アドミッションポリシー

北海道大学大学院文学研究科は，グローバル化・情報化の時代を迎え，従来の価値観に動揺を来しつつある現代にあって，そこに生きる人間と人間が創り出す社会や文化の本質を研究し，教育することを基本理念としている。

文学研究科は，この基本理念に基づいて，思想文化学，歴史地域文化学，言語文学，人間システム科学の4専門分野に分かれて研究教育を行う。各分野における専門的知識と研究方法を身に付け，社会のさまざまな領域において活躍できる人材を養成することが本研究科の教育研究目標である。

従って，本研究科は国際社会や地域社会のニーズに応えながら，思想・文化・歴史・言語・文学・人間科学の諸領域において，人間社会への知的探求を誠実に行いうる大学院生を求めている。

本研究科の修士課程・博士後期課程修了後は，大学院の学修で習得した専門的知識，判断力及び研究倫理を土台として，市民的公德心を持った社会人として，現代社会に貢献して欲しいと考えている。

入学試験においては，専門分野の基礎的知識，論理的な思考力，語学力および豊かな表現力の有無が問われる。具体的には，修士論文（ないしそれに代わるもの）の評価，外国語試験，専門学力試験，口述試験等により実施される。

《一般入試》

1. 専攻及び募集人員

思想文化学専攻	6名	} 合計 35名
歴史地域文化学専攻	11名	
言語文学専攻	11名	
人間システム科学専攻	7名	

2. 出願資格

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者又は平成 27 年 3 月までに授与見込みの者
- (2) 外国の大学において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を有する者又は平成 27 年 3 月までに授与見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成 27 年 3 月までに授与見込みの者（「3. 出願資格審査」参照）
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は平成 27 年 3 月までに授与見込みの者（「3. 出願資格審査」参照）
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和 51 年法律第 72 号) 第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了した者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者（「3. 出願資格審査」参照）
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）。（別記 2、16 頁参照）
※大学を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 3 年 4 月 1 日以前に出生したもの（別記 2、16 頁参照）
※短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者や外国大学日本分校等修了者など修士の学位を有していない者で、上記(7)に該当しない者が対象

3. 出願資格審査

「2. 出願資格」の(3)、(4)、(6)により出願しようとする者は、平成 26 年 11 月 28 日（金）までに本研究科に申し出ること。

「2. 出願資格」の(7)、(8)により出願しようとする者は、別記 2（16 頁）により必要書類を提出すること。

4. 出願書類

出願書類等	備 考
☐ 入学願書・受験票・写真票 ☐ 住所シール （本要項に綴じ込みの用紙）	入学願書及び受験票・写真票に、応募する専攻名と志望する専修名を記入すること。専修名については、別記 1（13～15 頁）を参考にして記入すること。
☐ 成績証明書	出身大学（研究科）長の発行するもの。本研究科出身者は提出不要。
☐ 修了（見込）証明書	出身大学（研究科）長の発行するもの。本研究科出身者は提出不要。
☐ 修士学位論文（写）	修士学位論文の写し、又はそれに代わる学術論文の写しを提出すること。なお、その他に参考となる論文があれば添えて提出してもよい。
☐ 入学後の研究計画書	任意の様式で作成のうえ提出すること。（4,000 字以内）
☐ 受験票送付用封筒 （本要項に綴じ込みの封筒）	本研究科所定の封筒に 372 円分の切手を貼付し、住所、氏名、郵便番号を記載のこと。

☐ 検定料 30,000円 (本要項に綴じ込みの払込書) ※既納の検定料は、以下の場合を除き返還できない。 ①出願しなかった場合 ②誤って二重に払い込んだ場合 ③徴収を必要としない者が誤って払い込んだ場合 【返還方法の問い合わせ先】 大学院文学研究科・文学部 教務担当 (011)706-3005, 3004	本学大学院の修士課程(博士前期課程)を修了見込みの者及び国費外国人留学生は納入不要。 ①本学所定の払込書の※欄に、志願者本人の住所・氏名(漢字、フリガナ)、電話番号を黒のボールペンで正確に記入して、必ず銀行(ゆうちょ銀行を含む。以下同じ。)の窓口で振り込むこと。ATM(現金自動預払機)は使用不可。 ②「払込金受領証」及び「検定料受付証明書」を銀行の窓口から受け取る際には、必ず「受付局日附印」を確認すること。「受付局日附印」が押印されていないと願書は受理できない。 ③「受付局日附印」が押印された「検定料受付証明書」を願書の所定の欄に貼り付けて提出すること。 ④「払込金受領証」及び「検定料受付証明書」は、無くさないよう注意すること。
---	--

外国人留学生の場合は、以下の書類を併せて提出すること。

出願書類等	備 考
☐ 推薦書	出身大学の指導教員が作成したもの。本研究科出身者(研究生を含む。)は提出不要。
☐ 外国籍であることを証明する書類	パスポート(在留資格の確認できる頁)の写し又は在留カードの写し等。
☐ 修学に必要な経済能力を証明する書類	国費外国人留学生は提出不要。
☐ 国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生であることの証明(該当者のみ提出)。

5. 出願期間及び提出先

(1) 出願期間

平成27年2月9日(月)から平成27年2月13日(金)まで。ただし、祝日を除く。

持参の場合：受付時間は午前9時から午後4時30分まで。

郵送の場合：この期間内に必着のこと。

(2) 提出先

北海道大学大学院文学研究科・文学部教務担当(〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目)

出願書類を郵送する場合には、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きし、書留郵便とすること。

6. 入学試験期日及び場所

(1) 試験期日 平成27年3月2日(月) ※開始時間は専修により異なる。詳細は受験票送付時に通知する。

(2) 場 所 北海道大学大学院文学研究科

7. 選抜方法

専修ごとに行う口述試験等の結果及び出願書類を総合して合格者を決定する。

ただし、外国人志願者の選考は、特別の選考によることがあるので、本研究科に照会すること。

口述試験等：口述試験は、提出された修士学位論文(写)・研究計画書等に基づいて専門知識・研究計画等について試問する。このほかに専修によっては筆記試験・文献読解等を課することがある(別記《一般入試》、5～6頁参照)。

8. 合格者発表

平成27年3月4日(水) 午後4時

文学研究科公用掲示板に掲示するとともに、受験者宛、合否を郵送により通知する。電話等による問い合わせには一切応じない。

なお、通知の到着は、4～5日後になることがある。

別記《一般入試》

思想文化学専攻

専修名	口 述 試 験 等
哲学倫理学	修士学位論文・研究計画書に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する（外国語文献読解を含むことがある）。
宗教学インド哲学	修士学位論文・研究計画書に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する（外国語文献読解を含むことがある）。
芸術学	修士学位論文・研究計画書に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する（外国語文献読解を含むことがある）。

歴史地域文化学専攻

専修名	口 述 試 験 等
日本史学	口述試験（筆記試験を含むことがある。）
東洋史学	東洋史学に関する専門知識及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。
西洋史学	専門知識及びこれまでの研究に関する口頭試問と西洋史に関する外国語の文献読解。外国語は、英語・ドイツ語・フランス語の中から研究に必要な言語1つを選択する。辞書持込み可（電子辞書は不可）。
歴史文化論	口述試験（修士学位論文・研究計画書等に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する。なお、専門に関する外国語の試験を含むことがある。）
北方文化論	提出された論文に基づいて、専修分野に関する専門知識及び入学後の研究計画について試問する（筆記試験を含むことがある）。
スラブ社会文化論	・外国語文献読解：英語2題、ロシア語2題の中から任意の2題を選択し、日本語訳を行うか、英語のロシア語訳もしくはロシア語の英語訳を行う。 辞書持込み可（電子辞書は不可）。 ・口述試験

言語文学専攻

専修名	口 述 試 験 等
西洋文学	修士学位論文・研究計画書等に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する（文献読解を含むことがある）。
言語科学	修士学位論文・研究計画書等に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する（文献読解を含むことがある）。
日本語科学	修士学位論文・研究計画書等に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する（文献読解を含むことがある）。
日本文化論	口述試験
中国文化論	口述試験（文献読解を含むことがある。）
映像・表現文化論	口述試験

人間システム科学専攻

専修名	口 述 試 験 等
心理システム科学	専修分野に関する専門知識，研究能力及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。英語文献読解等を含む。
行動システム科学	専修分野に関する専門知識，研究能力及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。英語文献読解を含む。
社会システム科学	専修分野に関する専門知識，研究能力及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。英語文献読解を含む。
地域システム科学	専修分野に関する専門知識，研究能力及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。英語文献読解を含む。

《社会人特別入試》

1. 専攻及び募集人員

思想文化学専攻	若干名
歴史地域文化学専攻	若干名
言語文学専攻	若干名
人間システム科学専攻	若干名

2. 出願資格

2-1 下記の各号のいずれかに該当する者で、修士の学位又はこれに相当する資格を得た後、通算2年以上の社会経験（研究生及び大学院学生としての期間は含まない。）を有する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国の大学において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を有する者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（「3. 出願資格審査」参照）
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（「3. 出願資格審査」参照）
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了した者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者（「3. 出願資格審査」参照）
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号参照）（別記2、16頁参照）
※大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

2-2 下記の各号のいずれかに該当する者で、在職者（常勤又はそれに準ずるものに限る。）として2年以上の社会経験を有する者

- (8) 本学大学院の修士課程に社会人特別入試により入学し、在職のまま修了した者又は平成27年3月までに修了見込みの者で引き続き研究を志望している者
- (9) 他大学大学院の修士課程を在職のまま修了した者又は平成27年3月までに修了見込みの者で引き続き同一分野の研究を志望している者
- (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成3年4月1日以前に出生した者（別記2、16頁参照）

※短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者や外国大学日本分校等修了者など修士の学位を有していない者で、上記(7)に該当しない者が対象

3. 出願資格審査

「2.出願資格」の(3),(4),(6)により出願しようとする者は、平成26年11月28日(金)までに本研究科に申し出ること。
「2.出願資格」の(7),(10)により出願しようとする者は、別記2(16頁)により必要書類を提出すること。

4. 出願書類

出願書類等	備 考
☐ 入学願書・受験票・写真票 ☐ 住所シール (本要項に綴じ込みの用紙)	入学願書及び受験票・写真票に、応募する専攻名と志望する専修名を記入すること。専修名については、別記1(13～15頁)を参考にして記入すること。
☐ 成績証明書	出身大学（研究科）長の発行するもの。本研究科出身者は提出不要。
☐ 修了（見込）証明書	出身大学（研究科）長の発行するもの。本研究科出身者は提出不要。

☐ 在職証明書又はこれに代わるもの	
☐ 研究業績一覧	
☐ 専修分野の論文	志望分野に関連する論文等の写3点以内（修士学位論文を含めてもよい）。
☐ 入学後の研究計画書	任意の様式で作成のうえ提出すること。（4,000字以内）
☐ 受験票送付用封筒 （本要項に綴じ込みの封筒）	本研究科所定の封筒に372円分の切手を貼付し、住所、氏名、郵便番号を記載のこと。
☐ 検定料 30,000円 （本要項に綴じ込みの払込書） ※既納の検定料は、以下の場合を除き返還できない。 ①出願しなかった場合 ②誤って二重に払い込んだ場合 ③徴収を必要としない者が誤って払い込んだ場合 【返還方法の問い合わせ先】 大学院文学研究科・文学部 教務担当 (011)706-3005, 3004	本学大学院の修士課程（博士前期課程）を修了見込みの者は納入不要。 ①本学所定の払込書の※欄に、志願者本人の住所・氏名（漢字、フリガナ）、電話番号を黒のボールペンで正確に記入して、必ず銀行（ゆうちょ銀行を含む。以下同じ。）の窓口で振り込むこと。ATM（現金自動預払機）は使用不可 ②「払込金受領書」及び「検定料受付証明書」を銀行の窓口から受け取る際には、必ず「受付局日附印」を確認すること。「受付局日附印」が押印されていないと願書は受理できない。 ③「受付局日附印」が押印された「検定料受付証明書」を願書の所定の欄に貼り付けて提出すること。 ④「払込金受領書」及び「検定料受付証明書」は、大切なものなので、無くさないよう注意すること。

5. 出願期間及び提出先

（1）出願期間

平成27年2月9日（月）から平成27年2月13日（金）まで。ただし、祝日を除く。

持参の場合：受付時間は午前9時から午後4時30分まで。

郵送の場合：この期間内に必着のこと。

（2）提出先

北海道大学大学院文学研究科・文学部教務担当（〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目）

出願書類を郵送する場合には、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きし、書留郵便とすること。

6. 入学試験期日及び場所

（1）試験期日 平成27年3月2日（月） ※開始時間は専修により異なる。詳細は受験票送付時に通知する。

（2）場 所 北海道大学大学院文学研究科

7. 選抜方法

専修ごとに行う口述試験等の結果及び出願書類を総合して合格者を決定する。

口述試験は、提出された専修分野の論文・研究計画書等その他に基づいて専門知識・研究計画等について試問する。

このほかに専修によっては筆記試験・文献読解等を課すことがある（別記《社会人特別入試》、9～10頁参照）。

8. 合格者発表

平成27年3月4日（水） 午後4時

文学研究科公用掲示板に掲示するとともに、受験者宛、合否を郵送により通知する。電話等による問い合わせには、一切応じない。なお、通知の到着は、4～5日後になることがある。

9. 教育方法の特例（大学院設置基準第14条による特例）について

本研究科では、通常、平日の1講時～5講時（8：45～18：00）に授業を行うことになっているが、有職者である学生に限り、その所属先における勤務条件、通学に要する時間等について、教員が考慮した上で、通常の授業時間帯以外の特定の時間又は時期に授業を設けることが許されている。この特例による授業の実施を希望する者は、合格発表後、指導を希望する教員に申し出るとともに、今後の研究・学習計画等について指導を受けること。

別記《社会人特別入試》

思想文化学専攻

専 修 名	口 述 試 験 等
哲学倫理学	修士学位論文・研究計画書に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する（外国語文献読解を含むことがある）。
宗教学インド哲学	修士学位論文・研究計画書に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する（外国語文献読解を含むことがある）。
芸術学	修士学位論文・研究計画書に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する（外国語文献読解を含むことがある）。

歴史地域文化学専攻

専 修 名	口 述 試 験 等
日本史学	口述試験（筆記試験を含むことがある。）
東洋史学	東洋史学に関する専門知識及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。
西洋史学	これまでの研究に関する口頭試問と西洋史に関する外国語の文献読解。外国語は、英語・ドイツ語・フランス語の中から研究に必要な言語1つを選択する。辞書持込み可（電子辞書は不可）。
歴史文化論	口述試験（修士学位論文・研究計画書等に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する。なお、専門に関する外国語の試験を含むことがある。）
北方文化論	提出された論文に基づいて、専修分野に関する専門知識及び入学後の研究計画について試問する（筆記試験を含むことがある）。
スラブ社会文化論	・外国語文献読解：英語2題、ロシア語2題の中から任意の2題を選択し、日本語訳を行うか、英語のロシア語訳もしくはロシア語の英語訳を行う。辞書持込み可（電子辞書は不可）。 ・口述試験

言語文学専攻

専 修 名	口 述 試 験 等
西洋文学	論文・研究計画書等に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する（文献読解を含むことがある）。
言語科学	論文・研究計画書等に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する（文献読解を含むことがある）。
日本語科学	論文・研究計画書等に基づいて、専門知識及び研究能力について試問する（文献読解を含むことがある）。
日本文化論	口述試験
中国文化論	口述試験（文献読解を含むことがある。）
映像・表現文化論	口述試験

人間システム科学専攻

専 修 名	口 述 試 験 等
心理システム科学	専修分野に関する専門知識, 研究能力及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。英語文献読解等を含む。
行動システム科学	専修分野に関する専門知識, 研究能力及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。英語文献読解を含む。
社会システム科学	専修分野に関する専門知識, 研究能力及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。英語文献読解を含む。
地域システム科学	専修分野に関する専門知識, 研究能力及び博士後期課程入学後の研究計画について試問する。英語文献読解を含む。

一般入試，社会人特別入試共通

・願書記入上の注意

入学願書の履歴事項欄には，高等学校卒業以降の履歴を全て記載すること。入学後，履歴中に重大な虚偽のあることが判明した場合は，入学を取り消すことがあるので注意すること。

・出願書類の請求

募集要項（出願書類）は，本研究科ホームページから請求すること。

北海道大学大学院文学研究科 <http://www.let.hokudai.ac.jp/>

・入学手続

（１）入学手続期間 ３月中旬（入学手続の詳細は，合格通知に同封する。）

（２）入学科 282,000 円

本学大学院の修士課程（博士前期課程）を修了し，引き続き博士後期課程に進学する者からは，徴収しない。

（３）授業料 前期分 267,900 円（年額 535,800 円）

（注１）上記の納付金は予定額であり，今後改定される場合がある。

（注２）在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用される。

・長期履修制度について

この制度は，主として時間的制約の多い社会人の修学に配慮したもので，標準の修業年限より長い期間をかけて計画的な履修を行うためのものである。

これに申請できるのは，官公庁・企業等に在職している者（給与の支給を受け，職務を免除されている者を除く。），自ら事業を行っている者等フルタイムの有職者，育児及び親族の介護等にたずさわっている者，又はそれらに準じる仕事や負担によって修学に重大な影響がある者に限定される。

希望者は出願時（平成 27 年 2 月 9 日（月）から 2 月 13 日（金）（祝日を除く。））に申請を行い，本研究科における審査を経て，3 月下旬に適用が決定される。入学時に長期履修が認められた者の授業料は，概ね標準修業年限に納付すべき授業料の額（年額×3 年）を長期履修が認められた年数で除した額を年額として決定する。

なお，申請書類には，長期履修を希望する理由が確認できる書類等を添付する必要があるため，申請者は，大学院文学研究科・文学部教務担当にて事前に申請書類を受領のうえ，申請に必要な書類を出願時まで揃えておくこと。

長期履修申請書の郵送を希望する場合は，返信用封筒（角形 2 号）に 120 円分の切手を貼付け，住所，氏名，郵便番号を記載のうえ，封筒のおもてに「長期履修申請書請求」と明記して請求すること。

【長期履修申請書 請求先】 北海道大学文学部教務担当
〒060-0810 札幌市北区北 10 条西 7 丁目

・個人情報の取り扱いについて

（１）本学が保有する個人情報は，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに，「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき，保護に万全を期している。

（２）出願書類に記載されている氏名，住所その他の個人情報については，①入学者選抜，②合格者発表，③入学手続き，④入学者選抜方法等における調査・研究，及び⑤これらに付随する業務を行うために利用する。

（３）出願書類に記載されている個人情報は，合格者のみ入学後の①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），③授業料等に関する業務を行うために利用する。

（４）（３）の個人情報のうち，氏名及び住所に限って，北大フロンティア基金及び本学関連団体である①北海道大学体育会，②財団法人北海道大学クラーク記念財団からの連絡を行うために利用する場合がある。

- ・入学試験に関する問い合わせ先

北海道大学大学院文学研究科・文学部教務担当

TEL (011) 706-3005, 3004 (月～金：8:30～17:00／祝日を除く)

※問い合わせは、やむを得ない場合を除き志願者本人が行うこと。

- ・各種情報開示について

翌年度4月に合否判定基準及び志願者数、受験者数、合格者数、入学者数の情報をホームページ上で公開する。

別記 1 (応募専攻, 専修決定の参考)

・修士課程授業科目表

思想文化学専攻	
(哲学倫理学専修)	
古代中世哲学特殊講義	義
近世哲学特殊講義	義
現代哲学特殊講義	義
倫理学特殊講義	義
応用倫理学特殊講義	義
論理学特殊講義	義
古代中世哲学特別演習	習
近世哲学特別演習	習
現代哲学特別演習	習
倫理学特別演習	習
応用倫理学特別演習	習
(宗教学インド哲学専修)	
インド哲学特殊講義	義
仏教学特殊講義	義
宗教学特殊講義	義
インド哲学特別演習	習
仏教学特別演習	習
宗教学特別演習	習
(芸術学専修)	
芸術学特殊講義	義
美学文化学特殊講義	義
芸術学特別演習	習
美学文化学特別演習	習

歴史地域文化学専攻	
(日本史学専修)	
日本史学特殊講義	義
日本古代史特別演習	習
日本中世近世史特別演習	習
日本近現代史特別演習	習
(東洋史学専修)	
東洋史学特殊講義	義
東洋古代中世史特別演習	習
東洋近現代史特別演習	習
(西洋史学専修)	
西洋史学特殊講義	義
西洋史学総合特別演習	習
西洋古代史特別演習	習
西洋中世近世史特別演習	習
西洋近現代史特別演習	習
東欧史特別演習	習
(歴史文化論専修)	
歴史文化学特殊講義	義
歴史文化学特別演習	習
歴史文化学特別実習	習
社会文化史学特別演習	習
文化人類学特別演習	習
国際文化関係学特別演習	習

(北方文化論専修)	
北方文化論特殊講義	義
考古学特別演習	習
北方考古学特別演習	習
人類学特別演習	習
北方人類学特別演習	習
民族言語学特別演習	習
(スラブ社会文化論専修)	
スラブ社会文化論特殊講義	義
スラブ社会文化論総合特別演習	習
スラブ地域文化論特別演習	習
スラブ地域社会論特別演習	習
スラブ地域相関論特別演習	習

言語文学専攻	
(西洋文学専修)	
英語英米文学特殊講義	義
ドイツ語ドイツ文学特殊講義	義
ロシア語ロシア文学特殊講義	義
フランス語フランス文学特殊講義	義
西洋古典学特殊講義	義
英米文学特別演習 I	習
英米文学特別演習 II	習
英米文学特別演習 III	習
ドイツ文学特別演習	習
ロシア文学特別演習	習
フランス文学特別演習	習
西洋古典学特別演習	習

(言語科学専修)	
言語情報学特殊講義	義
英語学特別演習 I	習
英語学特別演習 II	習
ドイツ語学ゲルマン語学特別演習	習
ロシア語学特別演習	習
フランス語学ロマンス語学特別演習	習
国語学特別演習	習
言語学特別演習 I	習
言語学特別演習 II	習
言語情報学特別演習	習

(日本語科学専修)	
日本語科学特殊講義	義
言語文化比較論特殊講義	義
日本語科学特別演習	習
言語分析論特別演習	習
言語文化比較論特別演習	習

(日本文化論専修)	
日本文化論特殊講義	義
日本古典文化論特別演習	習
日本語文化論特別演習	習
文献学(国語・国文)特別演習	習
日本文化史特別演習	習

(中国文化論専修)	
中国文化論特殊講義	義
中国思想特殊講義	義
中国語学特殊講義	義
中国文学特殊講義	義
中国文化論特別演習 I	習
中国文化論特別演習 II	習
中国思想特別演習 I	習
中国思想特別演習 II	習
中国語学特別演習 I	習
中国語学特別演習 II	習
中国文学特別演習 I	習
中国文学特別演習 II	習
(映像・表現文化論専修)	
映像・図像表現文化論特殊講義	義
映像・図像表現文化論特別演習	習
近代表現文化論特殊講義	義
近代表現文化論特別演習	習
日本近代文化論特殊講義	義
日本近代文化論特別演習	習

人間システム科学専攻	
(心理システム科学専修)	
心理学特殊講義	義
認知理論特別演習	習
行動理論特別演習	習
知覚情報論特別演習	習
表象構造論特別演習	習
知識構造論特別演習	習
思考過程論特別演習	習
学習過程論特別演習	習
(行動システム科学専修)	
行動科学特殊講義	義
行動科学特別演習	習
行動実験調査法特別演習	習
計量行動学特別演習	習
数理行動学特別演習	習
社会心理学特別演習	習
集団力学特別演習	習
(社会システム科学専修)	
社会学特殊講義	義
社会調査法特別演習	習
社会学理論特別演習	習
社会集団論特別演習	習
社会構造論特別演習	習
社会変動論特別演習	習
応用社会学特別演習	習
(地域システム科学専修)	
地域科学特殊講義	義
地域分析法特別演習	習
地域社会学特別演習	習
開発社会学特別演習	習
地域環境学特別演習	習
社会生態学特別演習	習
人文地理学特別演習	習
経済地理学特別演習	習

・各専修における専門分野

■思想文化学専攻

専 門 分 野	専 修
哲学・哲学史 倫理学・応用倫理学 論理学 社会思想史	哲学倫理学
宗教学 インド哲学 仏教学	宗教学インド哲学
美学 芸術学 視覚文化論 日本美術史 西洋美術史	芸術学

■歴史地域文化学専攻

専 門 分 野	専 修
日本史学	日本史学
東洋史学 西南アジア史学	東洋史学
西洋史学	西洋史学
地域文化研究(アメリカ・中東・東アジア)	歴史文化論
文化人類学	
考古学 民族言語学 博物館学	北方文化論
ロシアの社会と文化 中央ユーラシアの社会と文化 東欧の社会と文化	スラブ社会文化論

■言語文学専攻

専 門 分 野	専 修
英米・英語圏文学 ドイツ文学 フランス文学 ロシア文学 西洋古典文学	西洋文学
英語学 ドイツ語学・ゲルマン語学 フランス語学・ロマンス語学 ロシア語学 言語学 言語情報学 国語学	言語科学
日本語科学（日本語学・現代日本語を対象とする一般言語学・社会言語学，対照言語学，応用言語学，言語文化論，翻訳論等）	日本語科学
日本古典文学 日本古典文化	日本文化論
中国思想 中国語学 中国文学	中国文化論
映像・表象文化 日本近現代文学・思想	映像・表現文化論

■人間システム科学専攻

専 門 分 野	専 修
心理学 認知科学	心理システム科学
社会心理学，及びその関連分野（文化心理学，環境心理学，進化心理学，行動経済学など）	行動システム科学
社会学	社会システム科学
社会生態学 人文地理学	地域システム科学

別記 2

・出願資格審査

「2. 出願資格」の(7)(8)(社会人特別入試は(7)(10))…修士の学位を有していない者に対する個別の資格審査…により出願しようとする場合

(1) 提出書類

- ① 受験資格審査願（本研究科所定の用紙，申し出により交付する。）
- ② 最終学校の卒業証明書，成績証明書
- ③ 最終学校卒業後の学習歴，実務経験等を2,000字以内で述べたもの。
- ④ 最終学校卒業後の学習歴，実務経験を証明できるもの。

例：教育機関の在学証明書，成績証明書

研究機関の在職証明書又はこれに代わるもの。

出版物，講演会発表要旨

- ⑤ 返信用封筒（出願資格通知用）

封筒（長形3号）に申請者の郵便番号・住所・氏名を明記し，362円分の切手を貼付したもの。

(2) 提出期限

平成26年12月25日（木）

(3) 審査基準

次のア，イの両方の条件を満たす者に，出願資格を与える。

ア 客観的に証明できる学習歴，実務経験を有し，それらの年数と本人の受けた学校教育の年数を合算し，18年以上となること。

イ 修士学位論文に相当する学習・研究成果をあげていること。

北海道大学大学院文学研究科

〒060-0810 札幌市北区北 10 条西 7 丁目

011-706-3005, 3004 (教務担当)

<http://www.let.hokudai.ac.jp/>